

新宮山彦ぐるーぷ第2354回

### 世界遺産石碑から21世紀の森の点検・整備

◇実施日 3月9日(日) 曇

◇参加者 沖崎吉信、濱野兼吉、児嶋道夫、梶野照雄、湯川一郎、

大江加代子、大江徳子、上村和美、畑林清子、杉本和  
巳、内野井慎搾 11名

新宮組は、日足、玉置口で内野井、杉本さんと合流し、葛川經由  
で下山口の21世紀のへ。

ここに3台の車を駐車して、出発地点の世界遺産石碑の所に戻る。  
展望台から天皇山、西峰などを眺望し出発に備える。



世界遺産石碑から



倒木を切除



標識を修理

出発して間もなく倒木があり、ノコギリで対応できそうにないの  
で、梶野さんのチェーンソーで処理する。それから間もなく児嶋さ  
んが倒れた標識を建て替える。順調に花折塚まで進み、ここで落ち  
葉を掃きだしてきれいに清掃し、線香を供え、記念撮影をする。花  
折塚は南朝の大塔宮護良(もりなが)親王に従った家臣の片岡八郎  
の墓所である。この忠節をたたえ道行く人が野の花を供えたところ  
から折華塚と呼ばれようになったらしい。



花折塚を清掃

本日の参加者

水呑金剛

倒木もなく順調に進み、水呑金剛へ。ここもかつては潤沢に水が  
流れていたらしいが、現在はその面影もない涸れ沢である。林道の  
出合から稚児の森にはお地藏さんが祀られていて、祠の中の落ち葉  
を掻きだしきれいにする。

稚児の森から蜘蛛の口へ。ここから少し進んで葛川への分岐あた  
りで昼食。尾根道は風が強く少し葛川側の斜面に降りて風を避ける。  
昼食後は「カフェ・コジマ」がオープン。コーヒーにお菓子の差

し入れをご馳走になり、楽しい昼のひと時を過ごす。

ここから第十一摩如意宝珠岳を目指す。ここはかつて千眺森（千本森）とも呼ばれるほど眺めのよい山であったそうだが、明治22年8月の十津川大水害で崩壊したと記録されていて、いま眺望はほとんどない。

古屋宿に下り、21世紀の森へ下山する。途中で上村さんが昨年はスマイレの花が咲いていたが、今年は寒さのせいか全然咲いていないと教えてくれた。



祠を清掃



風下で昼食



下山

昨年まではこのコースは交差登山であった。南奥駆道の巡視では一番楽のコースである。アップダウンも少なくコースには危険な箇所も少ない。倒木も少なく、巡視路も崩落箇所もなく快適歩くことができた。

今回は残雪もなく、危険な箇所もほとんどなく、安全に巡視をすることができた。私たちも大半が後期高齢者となり、体力的の随分

きつくなってきた。気力だけではできない部分も増えてきた。でも、山歩きができるだけでも幸せなのかもしれない。もう少し頑張ってみたい。

帰路は、玉置辻に児嶋さんが作成した地藏蔵の祠に回り、賽銭箱を設置したというので、賽銭の納入状況や安全対策などを確認して、玉置川経由で帰った。  
(記：濱野)

### 行動タイム

世界遺産石碑 09：10→09：47 花折塚 ↓ 10：42 水呑金剛 ↓ 11：22 稚児之森 ↓ 11：33 蜘蛛の口 ↓ 11：40 昼食 ↓ 12：30 如意宝珠岳 ↓ 12：40 古屋の宿 ↓ 13：17 21世紀の森